

みずほCustomer Desk Report 2019/02/26 号(As of 2019/02/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.82
TKY 9:00AM	110.78	1.1342	125.63	GBP/USD	0.7155
SYD-NY High	111.24	1.1368	126.30	AUD/USD	0.7184
SYD-NY Low	110.58	1.1324	125.40		0.7131
NY 5:00 PM	111.06	1.1357	126.18		0.7169
NY DOW	26,091.95	60.14	日本2年債	-0.1700	1.00bp
NASDAQ	7,554.46	26.92	日本10年債	-0.0400	0.00bp
S&P	2,796.11	3.44	米国2年債	2.5089	1.25bp
日経平均	21,528.23	102.72	米国5年債	2.4804	1.02bp
TOPIX	1,620.87	11.35	米国10年債	2.6671	1.43bp
シカゴ日経先物	21,570.00	140.00	独10年債	0.1080	1.55bp
ロンドンFT	7,183.74	5.14	英10年債	1.1720	1.65bp
DAX	11,505.39	47.69	豪10年債	2.0640	▲3.00bp
ハンセン指数	28,959.30	143.00	USDJPY 1M Vol	5.36	▲0.04%
上海総合	2,961.28	157.06	USDJPY 3M Vol	6.09	▲0.01%
NY金	1,329.50	▲3.30	USDJPY 6M Vol	6.72	▲0.07%
WTI	55.48	▲1.78	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	181.75	▲2.31	EURJPY 3M Vol	6.74	▲0.09%
ドルインデックス	96.40	▲0.11	EURJPY 6M Vol	7.62	0.08%

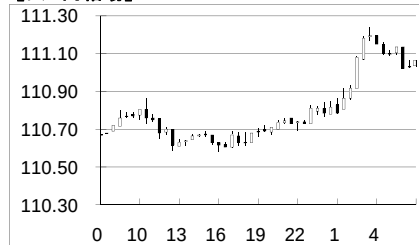
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	12月 101.8	-
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	1月 -0.43	0.10
2月26日	00:00	米 卸売在庫(前月比)・速報	12月 1.1%	0.4%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	12月 -1.0%	-0.3%

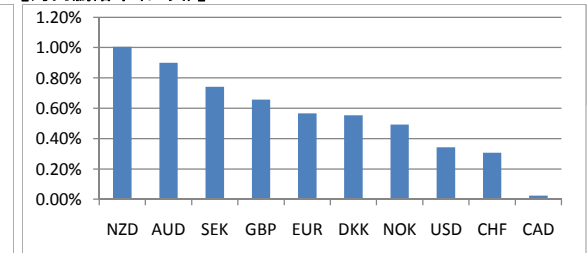
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月26日	22:30	米 住宅着工件数	12月 1256k	1256k
	22:30	米 建設許可件数	12月 1290k	1322k
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	12月 -0.1%	3.2%
	22:30	米 住宅建設許可(前月比)	12月 -2.6%	4.5%
	23:45	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
2月27日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 124.9	120.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.70-111.50	1.1300-1.1400	125.50-127.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場はトランプ米大統領が3月1日に設定されていた中国製品への関税引き上げ期限を「合意が近い」として延期を表明したことを受けて、円売り地合いとなり、ドル円は111.24まで上昇。英EU離脱に関してメイ首相がEU離脱日を最長で2か月延期する案を検討していると英紙が報じたこともポンド円をはじめとするクロス円での円売りを誘った。本日は引き続きリスク選好地合いが継続、ドル円は底堅く推移するものと予想。本日と明日に予定されているパウエル米FRB議長の議会証言には注目したい。

東京	オセアニア時間にトランプ米大統領から米中通商協議期限を延長するとの発表があったものの事前に織り込まれていたからか反応は限定的で、東京時間のドル円は110.78レベルで取引を開始。先週に引き続き動意を欠き、公示仲値の発表時間にかけて東京時間の高値となる110.86まで上昇したものの、更なる上値追いはならなかった。その後も110.60-70を中心とした狭いレンジでの値動きが続き、引け前に安値110.58をつけた後110.62レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.62レベルでオープン、アジア時間に続き、米対中関税引き上げ延期を好感し、株式市場が強含む中、ドル円相場も底堅く推移、110.76まで上昇し、110.73レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3071レベルでオープン。メイ首相が週末、EU離脱協定案を巡る議会での採決を3月12日までに進行方針を表明するも影響は限定的。1.3059-99の値幅でもみ合い、1.3090レベルでNYに渡った。(ロンドン先物 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	週末にトランプ米大統領が「3月2日から発動する予定だった対中関税の引き上げを延期する」、「合意を結ぶための米中首脳会談を計画している」と述べたが、既に織り込み済みのためか、海外市場のドル円は110円台後半を方向感なく推移し、110.73レベルでNYオープン。朝方発表された1月シカゴ連銀全米活動指数は予想を下回り、米12月卸売在庫(速報値)や2月ダウ連銀製造業活動指数は予想を上回ったが、材料視されず、ドル円の反応は限定的だった。対中関税引き上げ延期が好意されたためか、寄り付き後のダウ平均がプラス圏で底堅く推移する中、ドル円は2月14日以来に111円台を回復。その後、ユーロ円やポンド円の上昇にもサポートされ高値111.24をつけるが、200日移動平均線がレジスタンスとして意識され反落。午後は米株が伸び悩む中、111.03まで下落し、111.06レベルでクロス。一方、週末にメイ首相が「英EU離脱案の議会採決を3月12日までの延期を表明した」と伝わり、合意なきブレグジットへの懸念が一時的に後退し、海外市場のユーロドル1.1368まで上昇し、1.1358レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を背景にドル買いが進み1.1340まで下落するが、その後はユーロ円の上昇にサポートされ、反発。午後はコービン英労働党党首の「合意なきブレグジットを回避するため、修正離脱案を指示する」との発言が伝わり、ポンドドルの上昇に連れ高となり、1.1367まで上昇。しかし、海外時間高値近辺では上値が重く、結局1.1357レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:光石・綱島